

古典ナワトル語 つづりと発音

佐々木 充文 (@Mitchara)

2010年6月5日 Twitter 自由言語大学 関東第1回勉強会 資料

1 音素

古典ナワトル語には23(子音15・母音8)の音素があります。子音には有声・無声や有気・無気の対立がありません。母音は長短を区別します(長・短各4母音)。

1.1 母音

短母音 /i/・/e/・/a/・/u/ と長母音 /i:/・/e:/・/a:/・/u:/ の計8母音。/?/の前の長母音は短母音化。現代の正書法では/u/は *o* で表し、長母音をマクロンで表します (*i ē ā ō*)。

/i/ ...[i] 正書法: *i*

/i:/ ...[i:] 正書法: *ī*

/e/ ...[e] 正書法: *e*

/e:/ ...[e:] 正書法: *ē*

/a/ ...[ā] 正書法: *a*

/a:/ ...[ā:] 正書法: *ā*

/u/ ...[o] ~ [u] (自由変異、[o]が多い) 正書法: *o*

/u:/ ...[ō] ~ [u:] (自由変異、[ō]が多い) 正書法: *ō*

1.2 子音

破裂音 /p/・/t/・/k/・/k^w/・/?/、鼻音 /m/・/n/、摩擦音 /s/・/ç/、破擦音 /ts/・/tç/・/t^l/、流音 /l/、半母音 /j/・/w/の計15子音。鼻音は後続する子音と調音点が同化します。また、語末の有声子音は無声の条件異音をもちますが、省略します。/l/は語頭には現れず、/?/は音節末にしか現れません。

1.2.1 破裂音・鼻音

/p/ ...[p] 正書法: *p*

/t/ ...[t] 正書法: *t*

/k/ ...[k] 正書法: *i ī e ē*の前で *qu*、その他の位置で *c*

/k^w/ ...[k^w] 正書法: 母音の前で *cu*、その他の位置で *uc*

/?/ ...[ʔ] (語中では休止または [h] で現れることも) 正書法: *h*

/m/ ...[m] ~ [n] ~ [ŋ] (条件異音。後続の子音の調音点に同化。語末で [n]) 正書法: *m*
/n/ ...[n] ~ [m] ~ [ŋ] (条件異音。後続の子音の調音点に同化) 正書法: *n*

1.2.2 摩擦音・破擦音

/s/ ...[s̺] 正書法: *i ī e ē*の前で *c*、その他の位置で *z*
/ç/ ...[ç] 正書法: *x*
/ts/ ...[t̺s̺] 正書法: *tz*
/tç/ ...[t̺ç] 正書法: *ch*
/tʰ/ ...[tʰ] ~ [tʰ̺] 正書法: *tl* (側面開放破裂音だが音韻的には破擦音扱い)

1.2.3 流音・半母音

/l/ ...[l] 正書法: *l*
/j/ ...[j] 正書法: *y*
/w/ ...[w] 母音の前で *hu*、その他の位置で *uh*

2 アクセント

ナワトル語のアクセントは単純な高低アクセントで、語末から2音節目に置かれます(ただし、呼びかけ用法では語末の音節が高く発音されます)。アクセントには基本的に語境界を区別する以外の機能はありません。

3 正書法サンプル

グロスは省略します。

/k^wiç ankt̺ei:wticah/ 「あなたがたは今それを作っているところか？」 *¿Cuix ancch̺iuh̺ticateh?*
/teʔwa:ntin tikijaw¹aʔt¹aniʔ/ 「私たちは雨乞いをする」 *Tehhuāntin tiq̺iyauhtlahtlanih.*
/in iʔkeʔ in nika:n t¹a:caʔ/ 「この人たちはこの住民だ」 *Inihqueh in nicān tlācah.*
/in kukuçki u:wets in irtuski/ 「その病人は声が枯れてしまった」 *In cocoxqui ōhuetz in itozqui.*

4 その他の筆記法

本発表で採用している正書法は、Andrews や Karttunen の方式に倣ったものです。母音の長短と声門閉鎖音の有無に関しては、次の方式を採用している本もあります。

長母音 ... 鋭アクセント (*iéáó*) またはマクロン (*iēāō*)
母音 + 声門閉鎖音 (語頭・語中) ... 鈍アクセント (*ièàò*)
母音 + 声門閉鎖音 (語末) ... 曲アクセント (*iêâô*)

また、古いテキストや伝統文法の本では母音の長短や声門閉鎖音の有無はしばしば無視されるほか、/k^wa/ を *qua*、/sa/ /su/ を *ça ço* と書くなど、16世紀スペイン語式の綴りが見られます。